

南 監 査 号
令和4年11月9日

南 幌 町 長 大 崎 貞 二 様
南幌町議会議長 側 瀬 敏 彦 様
株式会社 南幌振興公社
代表取締役社長 大 崎 貞 二 様

南幌町監査委員 白 倉 敏 美
南幌町監査委員 佐 藤 妙 子

令和4年度南幌町財政的援助団体等監査報告書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定により実施した財政的援助団体等の監査結果に関する報告を同条第9項の規定により、次のとおり提出します。

記

1. 監査実施団体

株式会社 南幌振興公社

2. 監査実施期日

令和4年10月17日（1日間）

3. 財政的援助等内容

イ. 株 式 29,200千円（出資比率30.1%）

ロ. 損失補償 元金181,660千円及び利息の合計額を限度

4. 監査の目的と着眼点

財政的援助団体である株式会社南幌振興公社の令和3年度決算報告書、貸借対照表、損益計算書、契約書類等の重要書類を閲覧し、南幌町監査基準に基づき経営概況について書類監査と聞き取りを主に実施した。

また、令和4年9月末現在の経営成績、運営状況、集客状況の推移など、事業実績を基本に南幌リバーサイドゴルフ場の経営概況と収支見込についての聞き取りを主に確認を行うとともに財務諸表の検証を行っている。

5. 監査の場所

株式会社 南幌振興公社会議室

6. 監査の内容

① 令和3年度事業実績

営業日数は225日と前年度より17日、8.2%多く、入場客数も大きく増加し、前年度を7,436人、22.6%上回った。コース売上高も前年度に比べ23,101千円、20.1%と大幅に増加した。

【令和3年度コース売上高及び入場者数】

年度 項目		令和3年度	令和2年度	前年度対比	
				増減	増減率
営業日数		225日	208日	17日	8.2%
西・南	売上高	119,253千円	99,546千円	19,707千円	19.8%
	入場者数	33,489人	27,213人	6,276人	23.1%
	客単価	3,561円	3,658円	△97円	△2.7%
北	売上高	18,875千円	15,481千円	3,394千円	21.9%
	入場者数	6,893人	5,733人	1,160人	20.2%
	客単価	2,738円	2,700円	38円	1.4%
合計	売上高	138,128千円	115,027千円	23,101千円	20.1%
	入場者数	40,382人	32,946人	7,436人	22.6%
	客単価	3,421円	3,491円	△70円	△2.0%

※ 売上高に消費税及びゴルフ場利用税を含まない。

※ 入場者数に北コースの15歳未満の無料入場者を含む。(令和3年度：124名、2年度：136名)

② 令和3年度損益

練習場を含めた総売上高は153,617千円と予算比25,747千円、達成率120.1%、前年比24,244千円、18.7%増加した。

練習場売上高は15,165千円と前年比1,064千円、7.5%増加した。

売上原価は110,533千円と、前年比16,900千円、18.0%増加した。売上高構成比は72.0%と前年度の72.4%を0.4%下回り、売上総利益は43,084千円と前年比7,344千円、20.5%増加した。

販売及び一般管理費では、人件費で前年度は社員の退職金の支払いがあったこともあり13,892千円と前年比5,835千円減少した。広告宣伝費ではWeb予約に伴う送客手数料などで7,371千円、前年比3,515千円増加するなど販売管理費全体では25,683千円と前年比△3,880千円、13.1%減少し、営業利益では17,401千円と前年比11,224千円、181.7%増加した。

営業外利益では雑収入で、コロナ禍によるコンペ中止に伴う参加料収入の減少や、持続化給付金、雇用調整助成金の減少により1,316千円と前年比△2,678千円、67.1%減少

した。

以上の結果、売上原価が売上高に占める割合の減少を主たる要因として、経常利益（税引前当期純利益）は17,212千円と前年比8,620千円、100.3%増加となった。

【比較損益計算書】

(単位：千円)

科 目	令和3年度					令和2年度		増 減		
	年度	予算額	売上比	決算額	売上比	達成率	金額	売上比	増 減	増減率
売上高		127,870	100.0%	153,617	100.0%	120.1%	129,373	100.0%	24,244	18.7%
売上原価		99,712	78.0%	110,533	72.0%	110.9%	93,633	72.4%	16,900	18.0%
仕入高		190	0.1%	289	0.2%	152.1%	186	0.1%	103	55.4%
労務費		54,836	42.9%	56,560	36.8%	103.1%	49,298	38.1%	7,262	14.7%
消耗品費		3,100	2.4%	7,786	5.1%	251.2%	4,911	3.8%	2,875	58.5%
修繕費		6,100	4.8%	10,779	7.0%	176.7%	5,768	4.5%	5,011	86.9%
種子農薬費		7,780	6.1%	7,601	4.9%	97.7%	6,689	5.2%	912	13.6%
広告宣伝費		2,000	1.6%	2,127	1.4%	106.4%	1,619	1.3%	508	31.4%
減価償却費		6,690	5.2%	7,431	4.8%	111.1%	7,300	5.6%	131	1.8%
その他費用		19,016	14.9%	17,960	11.7%	94.4%	17,862	13.8%	98	0.5%
売上総利益		28,158	22.0%	43,084	28.0%	153.0%	35,740	27.6%	7,344	20.5%
販売・管理費		21,355	16.7%	25,683	16.7%	120.3%	29,563	22.9%	△3,880	△13.1%
人件費		13,838	10.8%	13,892	9.0%	100.4%	19,727	15.2%	△5,835	△29.6%
広告宣伝費		5,632	4.4%	7,371	4.8%	130.9%	3,856	3.0%	3,515	91.2%
保険料		217	0.2%	2,617	1.7%	1206.0%	2,617	2.0%	0	0.0%
その他費用		1,668	1.3%	1,803	1.2%	108.1%	3,363	2.6%	△1,560	△46.4%
営業利益		6,803	5.3%	17,401	11.3%	255.8%	6,177	4.8%	11,224	181.7%
営業外利益		944	0.7%	1,316	0.9%	139.4%	3,994	3.1%	△2,678	△67.1%
営業外費用		1,498	1.2%	1,505	1.0%	100.5%	1,579	1.2%	△74	△4.7%
経常利益		6,249	4.9%	17,212	11.2%	275.4%	8,592	6.6%	8,620	100.3%

(注) ※ 売上原価の労務費に高齢者事業団からの人員派遣委託費を含む。

③ 令和3年度末財務の状況について

令和3年度末の財務規模は744,329千円と前年比7,576千円、1.0%増加した。

1. 資産の部

流動資産は、現金・預金が10,874千円増加し、固定資産では、有形固定資産と投資その他資産が減少し3,236千円減少した。

【資産の部】

(単位：千円)

科 目		令和3年度末		令和2年度末		増 減	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
流動資産	現金・預金	42,260	5.7%	31,386	4.2%	10,874	34.6%
	その他	1,232	0.1%	1,294	0.2%	△62	△4.8%
	流動資産計	43,492	5.8%	32,680	4.4%	10,812	33.1%
固定資産	有形固定資産	94,775	12.7%	98,728	13.4%	△3,953	△4.0%
	無形固定資産	17,697	2.4%	17,697	2.4%	0	0.0%
	コース勘定	574,110	77.2%	574,110	77.9%	0	0.0%
	投資その他資産	14,255	1.9%	13,538	1.9%	717	5.3%
	固定資産計	700,837	94.2%	704,073	95.6%	△3,236	△0.5%
資産合計		744,329	100.0%	736,753	100.0%	7,576	1.0%

2. 負債・純資産の部

負債及び純資産は、流動負債で法人税等充当金が前年比 3,816 千円増加した。

固定負債では、長期借入金 6,500 千円を償還し、また、固定資産の取得に伴う長期未払金も前年比 2,059 千円減少した。

純資産では、税引後の当期純利益 11,771 千円が増加した。

【負債・純資産の部】

(単位：千円)

科 目			令和3年度末		令和2年度末		増 減		
			金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
負債の部	流動負債	法人税等充当金	4,431	0.6%	615	0.1%	3,816	620.5%	
		未払消費税	3,219	0.4%	3,736	0.5%	△517	△13.8%	
		その他流動負債	2,925	0.4%	1,860	0.2%	1,065	57.3%	
		流動負債計	10,575	1.4%	6,211	0.8%	4,364	70.3%	
	固定負債	長期借入金	129,660	17.4%	136,160	18.5%	△6,500	△4.8%	
		長期未払金	6,006	0.8%	8,065	1.1%	△2,059	△25.5%	
		固定負債計	135,666	18.2%	144,225	19.6%	△8,559	△5.9%	
負債合計			146,241	19.6%	150,436	20.4%	△4,195	△2.8%	
純資産の部	株主資本	資本金	97,100	13.0%	97,100	13.2%	0	0.0%	
		利益剰余金	利益準備金	24,275	3.3%	24,275	3.3%	0	0.0%
			別途積立金	348,000	46.8%	348,000	47.2%	0	0.0%
			繰越利益剰余金	128,713	17.3%	116,942	15.9%	11,771	10.1%
			小計	500,988	67.4%	489,217	66.4%	11,771	2.4%
	純資産合計			598,088	80.4%	586,317	79.6%	11,771	2.0%
負債合計			744,329	100.0%	736,753	100.0%	7,576	1.0%	

④ 令和4年9月末実績と経営概況について

令和4年9月末の営業実績は、西南コース・練習場ともに4月6日、北コース4月13日に営業を開始し、4月の入場者数は4,355人と計画比145.1%、前年比121.3%、5月の入場者数は6,223人と計画比122.0%、前年比114.9%と2年連続での増加となった。

6月以降も順調に推移し、昨年同様、コロナ禍によりクラブ主催のコンペは自粛したが、9月末累計で34,882人と当月末計画の30,200人に対し達成率115.5%、前年同期比1,516人、4.5%の増加となっている。

入場者数に占めるWeb予約の割合が9月末現在で43.2%と前年度通期の38.5%を大きく上回り集客効果を挙げている。

練習場の売上は、9月末現在で12,068千円と前年同期の12,536千円を若干下回った。

西・南コースの営業日数は、174日と前年172日に比べ2日多く、北コースは123日と前年同期と同じ日数となっている。

9月末のコース売上高は119,942千円と前年同期の112,076千円を7,866千円、7.0%上回っている。入場者数も34,882人と前年同期の33,366人を1,516人、4.5%上回る結果となっている。

【令和4年9月末コース売上高及び入場者数】

項目	単位	令和4年9月末			前年同期	前年同期対比		
		計画	実績	達成率		増減	増減率	
西・南	売上高	千円	88,936	104,228	117.2%	96,261	7,967	8.3%
	入場者数	人	25,500	29,179	114.4%	27,566	1,613	5.9%
	客単価	円	3,487	3,572	102.4%	3,492	80	2.3%
北	売上高	千円	12,690	15,714	123.8%	15,815	△101	△0.6%
	入場者数	人	4,700	5,703	121.3%	5,800	△97	△1.7%
	客単価	円	2,700	2,755	102.0%	2,727	28	1.0%
合計	売上高	千円	101,626	119,942	118.0%	112,076	7,866	7.0%
	入場者数	人	30,200	34,882	115.5%	33,366	1,516	4.5%
	客単価	円	3,365	3,439	102.2%	3,359	80	2.4%

※ 売上高に消費税、ゴルフ場利用税は含まない。

※ 北コースの15歳未満の無料入場者を含む。（令和4年度：101名、令和3年度：103名）

7. 監査のまとめ

令和3年度は令和2年度に比べ、コロナ禍による営業自粛や外出などの行動制限が緩和されたこともあり、売上高が前年比24,244千円、18.7%と大幅に増加した。

令和4年度は集客面で定着してきたWeb予約が全体の43.2%と前年より大幅な増加となり固定客に結びついてきている。コロナ禍において、今期は1組のバック率を上げるため、積極的に4バック限定プランや1人予約プランを展開したこと、また、女性客入場者数も9月末時点で14.0%となっており年々増加傾向にあることが、前年を上回る実績につながっていると思われる。

コース状況については、4月から5月は少雨で春先から干ばつが続き、芝生の生育の遅れが心配されたが、6月中旬以降、適度な降雨がありコースコンディションも徐々に回復した。例年の7月から9月と比べ芝生の密度も高く緑も濃く、良好な状態を維持して営業できたことも確認した。

練習場においては昨年12月に補修を行い、安全対策として打席間隔を従来より30cm広く設定し、打席数も2打席増設し45打席で営業した。売り上げも目標の13,000千円を達成できる見通しとなっている。

今後は長く親しまれるゴルフ場として営業面を考え、乗用カートの更新などにも力を入れ、老朽化した機械等の更新に取り組まれない。

令和4年度9月末実績に見る売上額はコース、練習場、売店で132,312千円と前年同期比5.9%の増加と好調を維持している。これまで南幌リバーサイドゴルフ場として、地道に顧客を獲得してきた成果の現れであると強く言える。

引き続き、ゴルフ場の魅力づくりに努めていることを確認し、特筆すべき事項はない。